



**宮田次雄さんが全国スポーツ祭で優勝**  
レクリエーション祭で優勝

富山県で開催された「第23回全国スポーツ・レクリエーション祭」ターゲット・バードゴルフ大会に出場した、宮田次雄さん（大國玉地区）が、個人戦男子グランドシニアの部で優勝しました。

この祭は、勝敗のみを競うのではなく、誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深めることを目的に、昭和63年から各都道府県持ち回りで毎年開催されているもので、同大会には、全国から54人が参加。宮田さんは、日頃の練習成果を発揮して見事な成績を収めました。



**桜川Jr.バドミントンが関東大会で好成績**

山梨県甲府市で開催された、第5回関東小学生バドミントン選手権大会に、桜川Jr.バドミントン少年団から保坂龍治・萩原悠稀ペアが5年男子ダブルスに出場。並居の強豪との試合の中、2回戦進出を果たしました。

また、同少年団から平田輝・齋藤叶汰ペアが4年男子ダブルスに、小池由華・景山紫帆ペアが4年女子ダブルスに出場しました。一回戦の突破はできませんでしたが、熱戦を繰り広げました。「今年の目標は、多くの試合を経験し関東大会上位入賞！」と、少年団の皆さんは力強く話していました。

**真壁バレーボールスポーツ少年団(男子)が関東大会第3位**

山梨県甲府市で開催された「第26回関東小学生バレーボール大会」男子の部で、真壁バレーボールスポーツ少年団が第3位に輝きました。

大会には関東の各都県の予選を勝ち進んできた16チームが参加。予選リーグを全勝で勝ち進み、決勝トーナメント準決勝では、石田JVC（神奈川県）と対決し、0-2で惜しくも敗れました。

同少年団は、昨年の「ファミマカップ全国大会」にも出場するなど、茨城県を代表するチームに成長しました。



**桃山中学校が「げんでん財団学校賞」を受賞**

桃山中学校が財団法人げんでんふれあい茨城財団から、げんでん財団学校賞を受賞しました。

この賞は、同財団が県内の小・中・高校生が行う科学技術の調査・研究などの優秀な成果に対し、日本原子力発電の委託を受け支援・表彰を行っているものです。

桃山中学生徒は、茨城県の児童生徒科学探究作品展において出品した生物や物理の研究作品（5つ）が総合的に評価・判断され、大変に優れていることから、今回の受賞に至ったものです。県内の教育事務所ごとに5校が受賞しています。



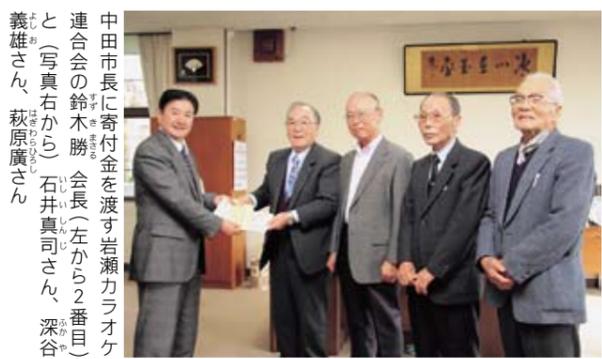
アサガオ、大根、LEDなどの、それぞれの研究が認められ、げんでん財団学校賞を受賞した桃山中3年生のみなさん

**岩瀬カラオケ連合会から教育委員会に寄付**

岩瀬カラオケ連合会（鈴木勝会長）から、学力向上の一助として学校図書整備に役立てほしいと、教育委員会に寄付がありました。

これは、同連合会が岩瀬体育館「ラスカ」で開催したカラオケ発表会とともに開催したチャリティー文化祭で、チャリティーの趣旨に賛同する会員からの募金を寄付していただきました。

中田市長は「岩瀬カラオケ連合会の会員の皆様の善意に心え、子供たちの学力向上のため有効に活用させていただきます。」と、お礼を述べました。



**榊穂小児童が夏休み理科研究で県教育長賞などを受賞**

茨城県自然博物館（坂東市）で開催された、第54回茨城県児童生徒科学探究作品展において、榊穂小学校の金澤遼さん（6学年）・龍平さん（4学年）兄弟が、県教育長賞を受賞しました。才能開発教育研究財団からも表彰され、全国展に出品しました。

「水辺の昆虫との共生をめざして」が研究主題。手つかずの自然が残る池の水生昆虫の生態系を、4年間継続して調査してきました。生態系を脅かしている問題について解決策を探り、環境を保全・保護するための人間の関わり方についての研究は、今後さらなる研究成果が期待されます。



作品の前で賞状を手にする金澤遼さん（写真右）と金澤龍平さん（写真左）



**桜川市多重債務者問題対策委員会開催**

多重債務問題は必ず解決します！

桜川市消費生活センターでは、市の公金および市民の皆様の相談に携わっている庁内関係部署の職員を対象に多重債務者問題庁内連絡会議を実施しました。

同会議は、庁内の関係部署の職員が多重債務者を把握した場合、消費者行政の相談窓口となっている「桜川市消費生活センター」へ適切に誘導できる、庁内の横の連携を整備し、問題を抱える多重債務者への対応が早期に行える体制づくりを目的に開催されました。

（相談専用電話：029617516300）



**榊穂小児童が夏休み理科研究で受賞**

「楽しみに待っている方がいるので、そばを打つ手にも力が入ります。」と、戌亥会同級生そば会の皆さん。

昨年11月、榊穂小学校卒業の「戌亥会同級生そば会」（大森秀彦会長）の皆さん41人が、榊穂地区の独居老人宅をそば慰問しました。

これは、何か地域にできるボランティア活動をしよと10年前から始まったもので、会員の皆さんが地元産常陸秋そば粉の打立てそばに地元小学校児童のメッセージを添えて独居老人宅を慰問しました。

「今回で10年目を迎えました。これを一区切りとして、今後は、新たな形で地元へ貢献できる活動をしていきたい。」と、大森会長は話していました。